

名古屋而立会・総会

第44代会長に伊藤亮仁氏(伊藤手帳株)

覚悟を決め、行動を起こす一年

名古屋而立会(伊藤亮仁会長、以下・而立会)は、4月18日午後6時より、ザ・グランドティアラ名古屋において「平成29年度総会」を開催した。総会では、近藤祐輔会長からバトンタッチした伊藤亮仁新会長が行動の源となる知識を得て、未来をつくるための「覚悟」を決め、「行動」を起こす一年にしたいという想いを胸に、決意と年間テーマ「覚悟と行動」を表明。新たなスタートを切った。また、平成28年度事業報告、決算報告、平成29年度事業計画案、予算案が審議され、承認された。総会事業終了後、OB会員を招き懇親会が開催された。参加者は会員42名、OB24名、来賓1名。

総会の司会進行は栗本延典副委員長が行ない、始めに平成29年伊藤亮仁新会長が挨拶に立った。

伊藤亮仁会長の就任挨拶は別項参照。

総会は、渡辺達也元会長を議長に議案審議に入った。近藤祐輔前会長が「平成28年度事業報告」、「平成28年度緑友会・その他の事業報告」、前年

度会計宮田洋敏氏が「平成28年度決算報告」を行ない、続いて、伊藤会長から「平成29年度事業計画案」、同「予算案」の内容説明が行なわれ、いずれも満場一致で承認された。

新入会員報告では、平成28年度秋入会、竹内清和氏(グラフィックフアイン(株)、若山誠治氏(ミツワ印刷(株))。平成29年度入会、鶴見峻介氏(柳文方社)、中島浩貴氏(柳中島紙工)、細江秀太郎氏(柳BNN)、森功一郎氏(モリ印刷(株))の6名が入会。また、OB会員への移行は、伊藤彰氏(大和企画(株))が報告された。さらに、休会員、退会会員の報告の後、総会は終了した。

その後、OB会員を招き懇親会が開催された。懇親会の冒頭来賓を代表して挨拶に立った愛知県印刷工業組合の細井俊男理事長は、はじめに近藤会長に去年一年間の労

いの言葉と伊藤新会長に、お祝いの言葉を述べた後、先ほど「覚悟と行動」という話があった。印刷という産業は120年位の中で最高の発明という事がよく言われているが、この10年位が大きな変革の時になるのではないかと。どうしても企業規模、機械の台数などが、足かせになって、なかなか大手企業に打勝つたり、申し上るといったことが難しい時代であった。だが、今のネット動画とかSNSとか色々な物が自由に飛び交うようになり、誰でも使える時代で、アイデアひとつで商売にのれる時代という点では、設備の大小はまったく関係がない。ここ10年で激変してきているので知恵とアイデアの二つで企業が化けるといえる。それだけ逆に怖さも有るが、そういったことを普段勉強している皆さん方が変わっていきませんか。また、私共組合も色々なセミナーを行なっている。組合員以外の方も参加できるセミナーも有るので、是非そういったものも有効に活用していただき、我々の

この業界が強い業界であり続けたい。コンテンツを握っている我々が非常に強い。それを使って、まだまだこの業界が発展していけるように而立会と組合も手を結んで発展していきたいと思っ

岡田吉生OB会会長の乾杯の音頭で新年度を迎える宴が始まり、和気藹々の中、情報交換の一時を過ごした。



近藤祐輔前会長と伊藤亮仁新会長(写真右)

の言葉と伊藤新会長に、お祝いの言葉を述べた後、先ほど「覚悟と行動」という話があった。印刷という産業は120年位の中で最高の発明という事がよく言われているが、この10年位が大きな変革の時になるのではないかと。どうしても企業規模、機械の台数などが、足かせになって、なかなか大手企業に打勝つたり、申し上るといったことが難しい時代であった。だが、今のネット動画とかSNSとか色々な物が自由に飛び交うようになり、誰でも使える時代で、アイデアひとつで商売にのれる時代という点では、設備の大小はまったく関係がない。ここ10年で激変してきているので知恵とアイデアの二つで企業が化けるといえる。それだけ逆に怖さも有るが、そういったことを普段勉強している皆さん方が変わっていきませんか。また、私共組合も色々なセミナーを行なっている。組合員以外の方も参加できるセミナーも有るので、是非そういったものも有効に活用していただき、我々の

この業界が強い業界であり続けたい。コンテンツを握っている我々が非常に強い。それを使って、まだまだこの業界が発展していけるように而立会と組合も手を結んで発展していきたいと思っ

岡田吉生OB会会長の乾杯の音頭で新年度を迎える宴が始まり、和気藹々の中、情報交換の一時を過ごした。

私が入会してからの13年間、この会で多くのことを学んできた。伝えられる人間になるためにコミュニケーション能力を高める勉強をしたり、数字に強くなるために決算書の分析をし、先輩からは経営理念の大切さも学んだ。

私の成長は、常に而立会と共にあった。而立会というのは、真剣に学び、お互いを刺激する本場に素晴らしい会であると思う。しかしながら私は、知識を得たことに満足し、社業に活かさないことが数々あったことも事実である。すばらしい講師や、先輩や仲間からのありがたい言葉に

その場で感動することがあっても、感動というのは忘れやすく、数日後には忘れてしまっていることも多々あった。知識や感動は、行動に移すことで結果につながる。そして、求める結果を得るには、継続した「行動」が必要になる。継続した行動を起こすには、自らの強い「覚悟」が必要である。

そこで、今年度は「覚悟と行動」という年間テーマで活動をする。皆さんもここにいるということは、人の上に立つ立場の人間であると思うので、それなりの覚悟を持ってほしい。自分がどうなりたいか、会社をどうしたいのかを、まずは真剣に考えてほしい。そして、例会で得た知識、仲間から学んだこと、受けた刺激を会社に持ち帰り、強い覚悟を持って行動に移してほしい。今年度も、それぞれの委員長が素晴らしい例会を開催してくれることになると思うが、抱えていく悩みや課題の答えは例会にあるのではなく、自らの行動の先にあると思う。斜陽産業だから、二代目・三代目だから、会社の規模が、などの言い訳は捨てて、強い覚悟と継続した行動で厳しい変化の時代に打ち勝つていこう。而立会の良さは質の高い例会だけではなく、同じ境遇の仲間から刺激を受け、悩みを共有できることである。むしろ私は例会よりも仲間から学ぶことの方が多かったかもしれない。入会間もない人、まだ感じられていない人がいれば、例会や委員会に参加するだけではなく、是非その後の懇親会で酒を飲みながら、信頼できる仲間に本音でぶつかってほしいと思う。本音でぶつかれば、相手も本音で答えてくれる。本音で語り合える仲間を是非作ってほしい。私も会長として、皆さんと共に学び、よい背中を見せられるよう先頭に立ち頑張りたいと思う。

伊藤亮仁会長就任挨拶

年間テーマ「覚悟と行動」



私が入会してからの13年間、この会で多くのことを学んできた。伝えられる人間になるためにコミュニケーション能力を高める勉強をしたり、数字に強くなるために決算書の分析をし、先輩からは経営理念の大切さも学んだ。

私の成長は、常に而立会と共にあった。而立会というのは、真剣に学び、お互いを刺激する本場に素晴らしい会であると思う。しかしながら私は、知識を得たことに満足し、社業に活かさないことが数々あったことも事実である。すばらしい講師や、先輩や仲間からのありがたい言葉に

その場で感動することがあっても、感動というのは忘れやすく、数日後には忘れてしまっていることも多々あった。知識や感動は、行動に移すことで結果につながる。そして、求める結果を得るには、継続した「行動」が必要になる。継続した行動を起こすには、自らの強い「覚悟」が必要である。

そこで、今年度は「覚悟と行動」という年間テーマで活動をする。皆さんもここにいるということは、人の上に立つ立場の人間であると思うので、それなりの覚悟を持ってほしい。自分がどうなりたいか、会社をどうしたいのかを、まずは真剣に考えてほしい。そして、例会で得た知識、仲間から学んだこと、受けた刺激を会社に持ち帰り、強い覚悟を持って行動に移してほしい。今年度も、それぞれの委員長が素晴らしい例会を開催してくれることになると思うが、抱えていく悩みや課題の答えは例会にあるのではなく、自らの行動の先にあると思う。斜陽産業だから、二代目・三代目だから、会社の規模が、などの言い訳は捨てて、強い覚悟と継続した行動で厳しい変化の時代に打ち勝つていこう。而立会の良さは質の高い例会だけではなく、同じ境遇の仲間から刺激を受け、悩みを共有できることである。むしろ私は例会よりも仲間から学ぶことの方が多かったかもしれない。入会間もない人、まだ感じられていない人がいれば、例会や委員会に参加するだけではなく、是非その後の懇親会で酒を飲みながら、信頼できる仲間に本音でぶつかってほしいと思う。本音でぶつかれば、相手も本音で答えてくれる。本音で語り合える仲間を是非作ってほしい。私も会長として、皆さんと共に学び、よい背中を見せられるよう先頭に立ち頑張りたいと思う。